

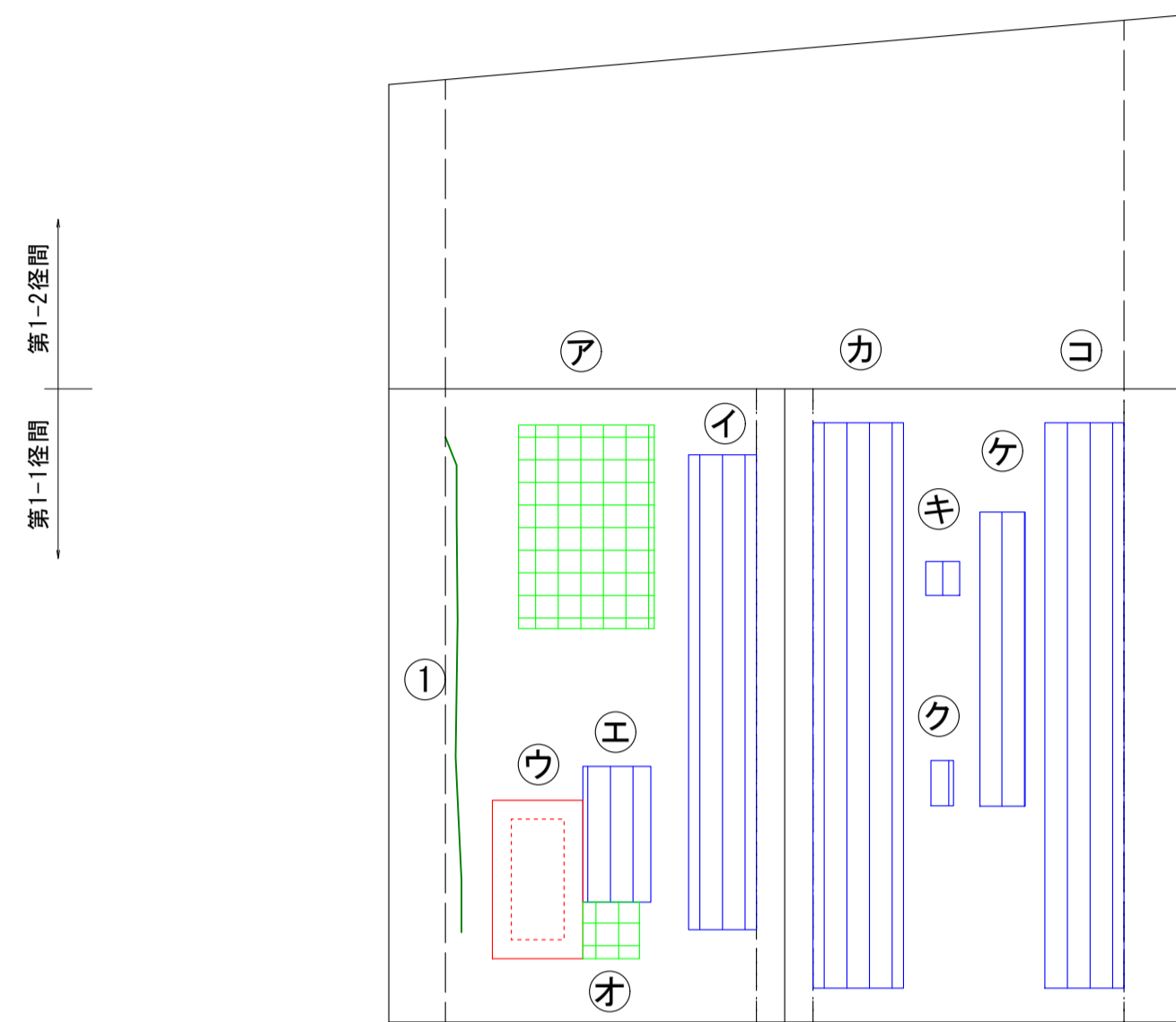


# 補修詳細図 S=1:30

## 大代戎野南3号線2号橋

### 頂版下面

第1-1径間 | 第2-1径間



第1-1径間  
断面修復面積 (左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m <sup>2</sup> ]	体積 V [m <sup>3</sup> ]
頂版0101	ア	うき	600	900	50	0.5400	0.0270
頂版0101	イ	鉄筋露出	300	2100	50	0.6300	0.0315
頂版0101	ウ	剥離	400	700	50	0.2800	0.0140
頂版0101	エ	鉄筋露出	300	600	50	0.1800	0.0090
頂版0101	オ	うき	250	250	50	0.0625	0.0031

第2-1径間  
断面修復面積 (左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m <sup>2</sup> ]	体積 V [m <sup>3</sup> ]
頂版0101	カ	鉄筋露出	400	2500	50	1.0000	0.0500
頂版0101	キ	鉄筋露出	150	150	50	0.0225	0.0011
頂版0101	ク	鉄筋露出	200	100	50	0.0200	0.0010
頂版0101	ケ	鉄筋露出	1300	200	50	0.2600	0.0130
頂版0101	コ	鉄筋露出	350	2500	50	0.8750	0.0438

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

《ひび割れの線種》

	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

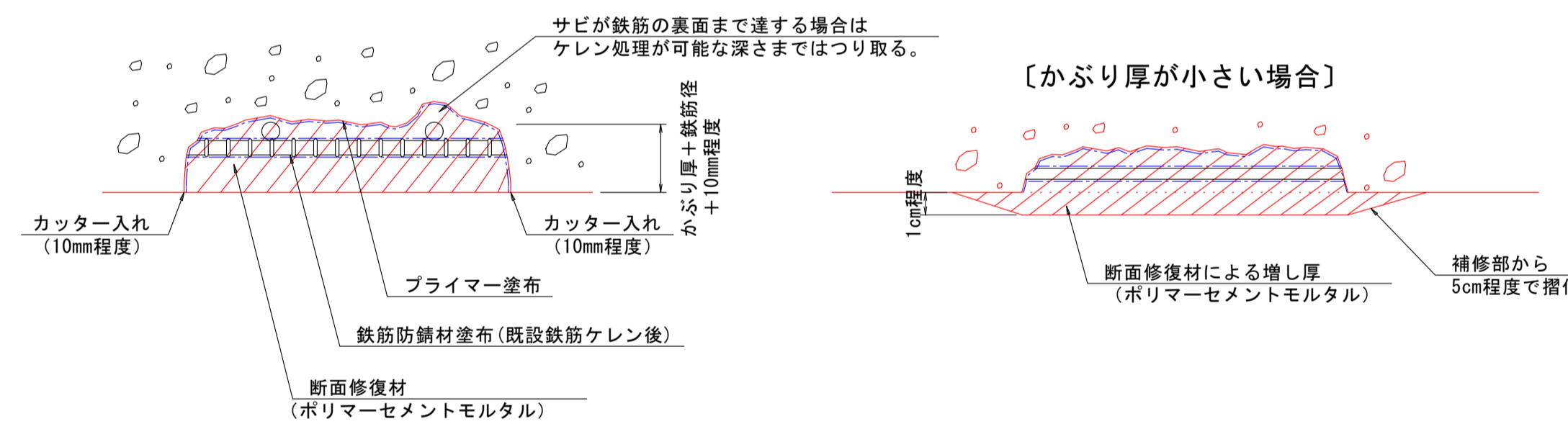
凡 例	
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。  
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。  
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。  
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）  
 で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。  
 注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

凡例

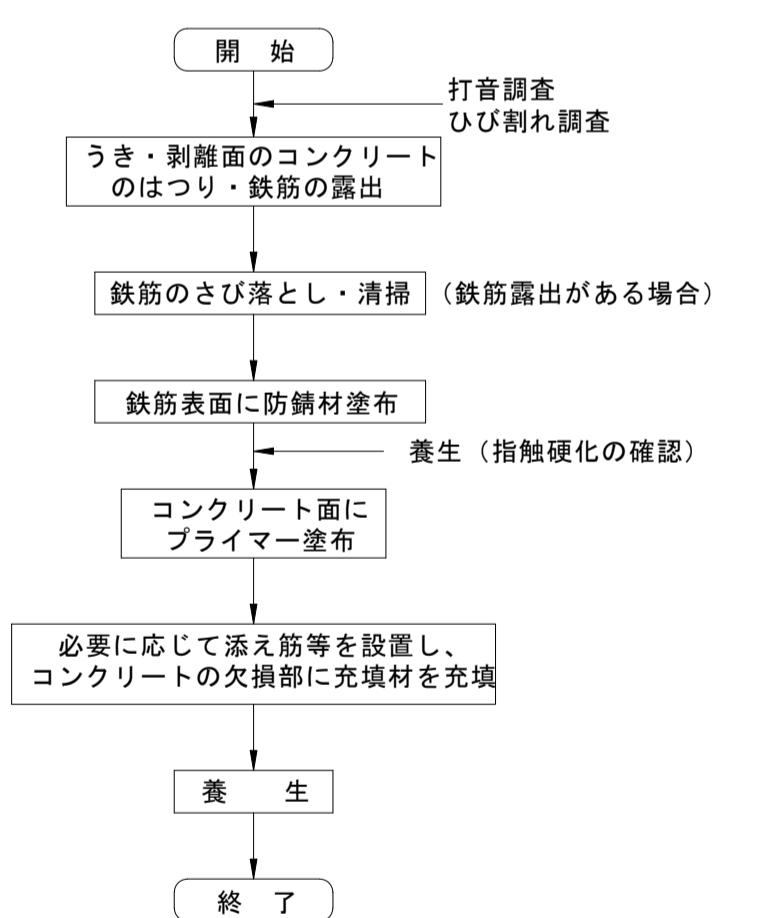
- ①～：ひびわれ注入工法
- ア～：断面修復工法

### 断面修復工詳細図



- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って振り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の番線等の残鉄は可能な限り撤去して断面修復すること。
- ※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。（10～20mm程度）
- ※ 豆板部で粗骨材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

《断面修復工法の施工要領》

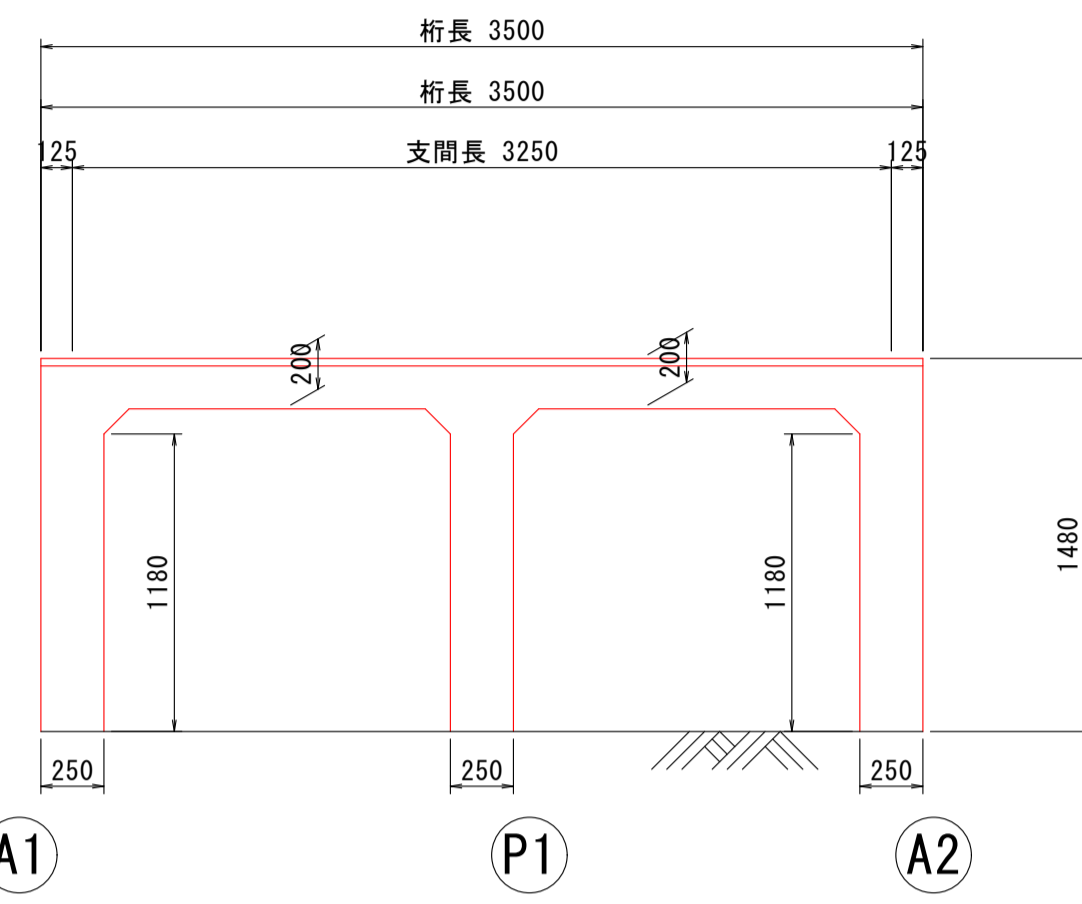


図面番号	第 2 号	図面総数	第 5 葉
工事名称	大代戎野南3号線2号橋外橋梁補修工事		
図 名	補修詳細図		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和6年9月	所属年度	令和6年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長 係 員 設計・製図 照 査
	鳴門市 都市建設部 土木課		

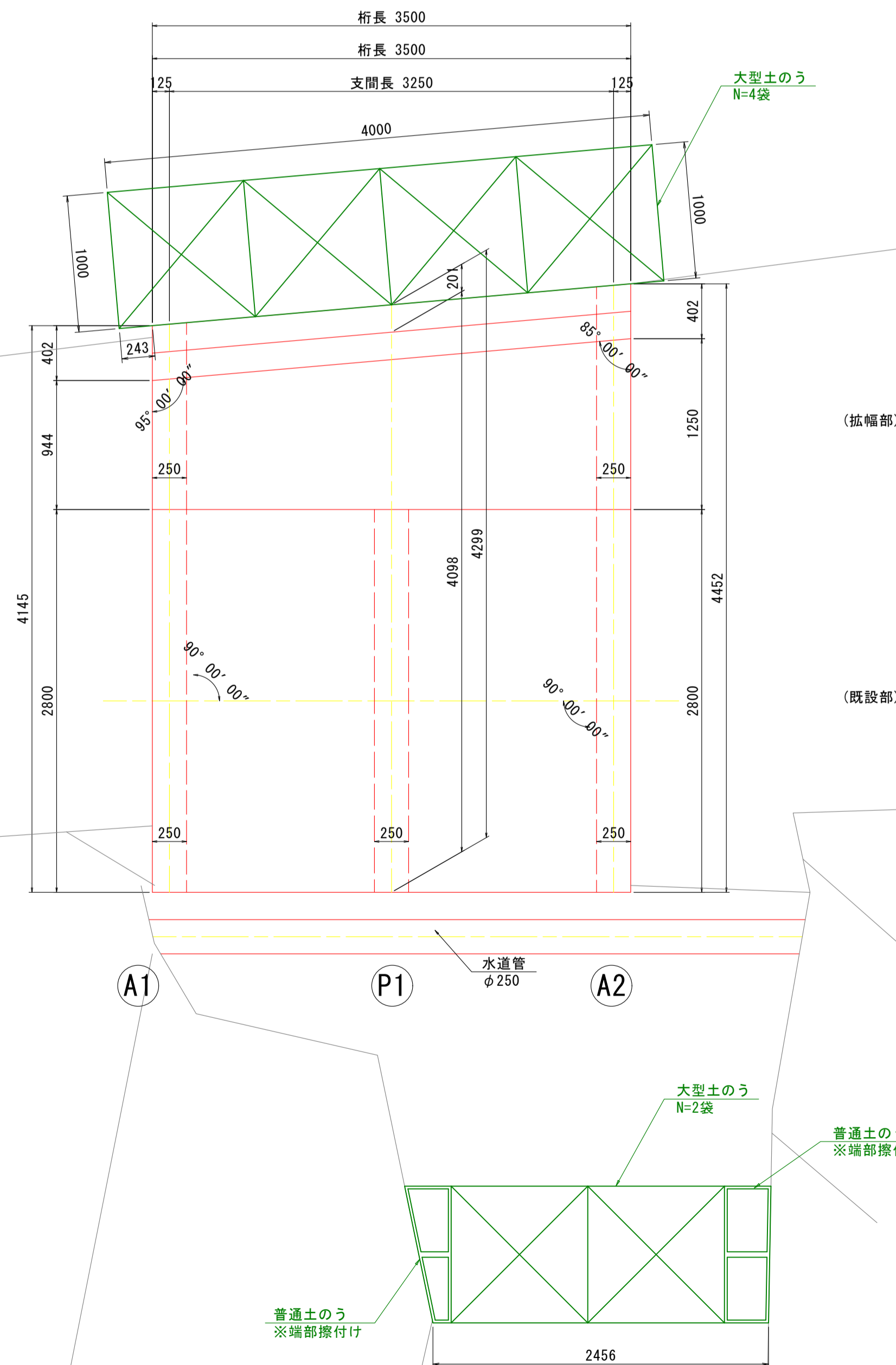
# 施工要領図 S=1:30

## 大代戎野南3号線2号橋

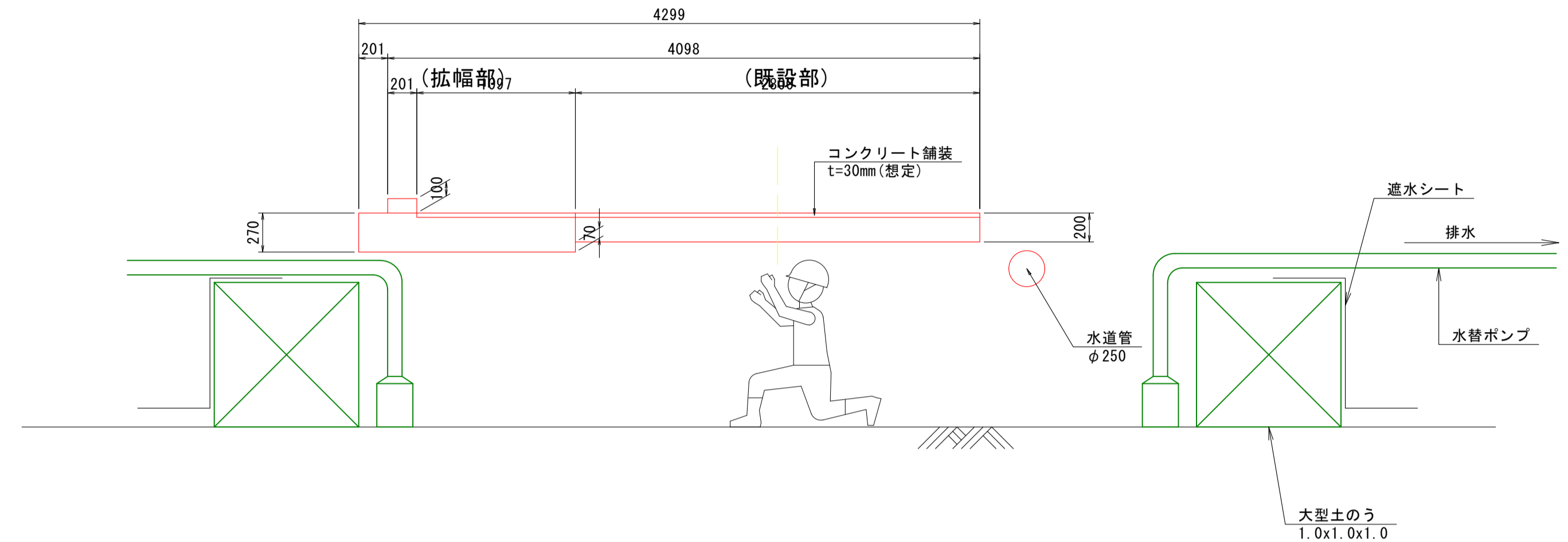
側面図



平面図



断面図

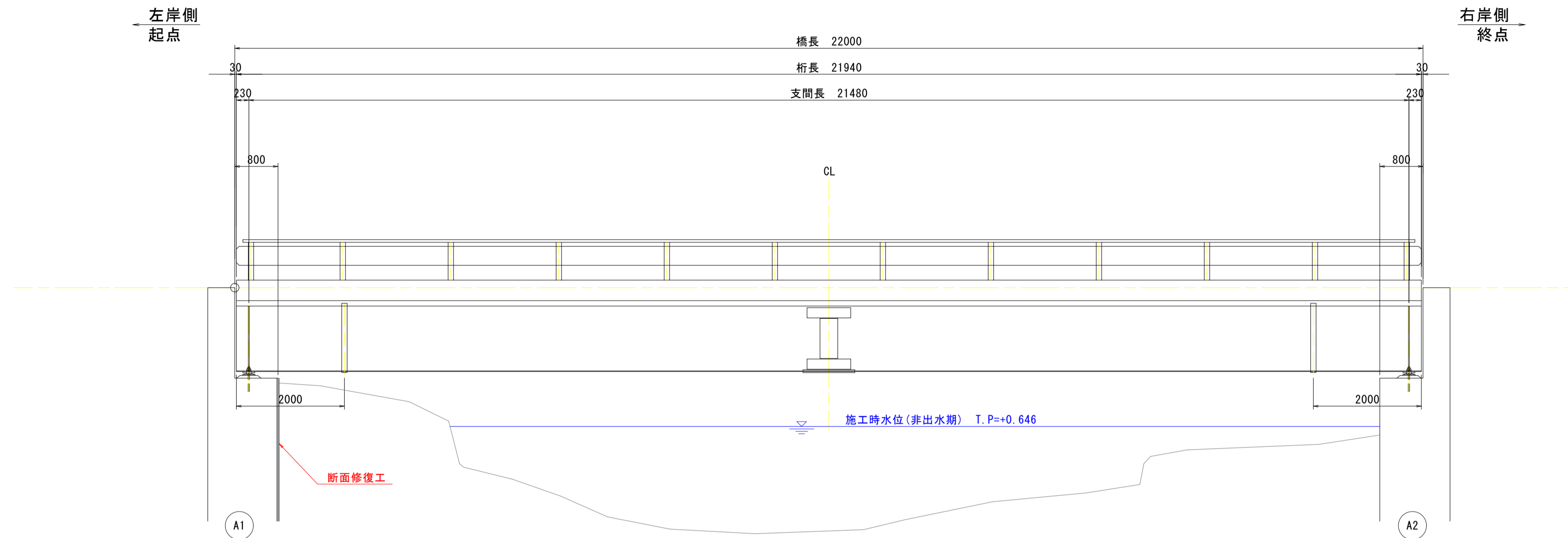


図面番号	第 3 号	図面総数	第 5 葉
工事名称	大代戎野南3号線2号橋外橋梁補修工事		
図名	施工要領図		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和6年9月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

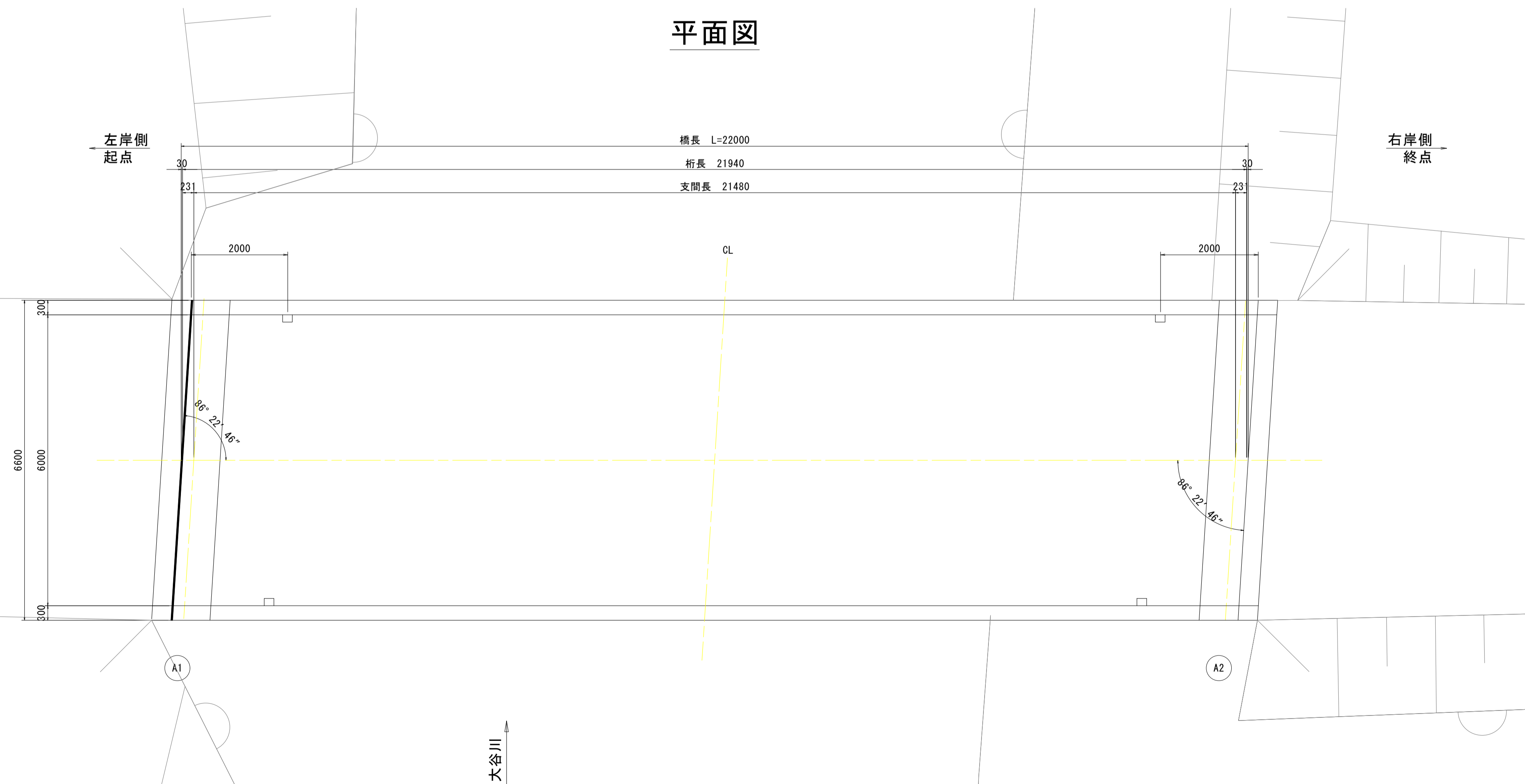
# 補修一般図 S=1:60

## 大谷川第1橋

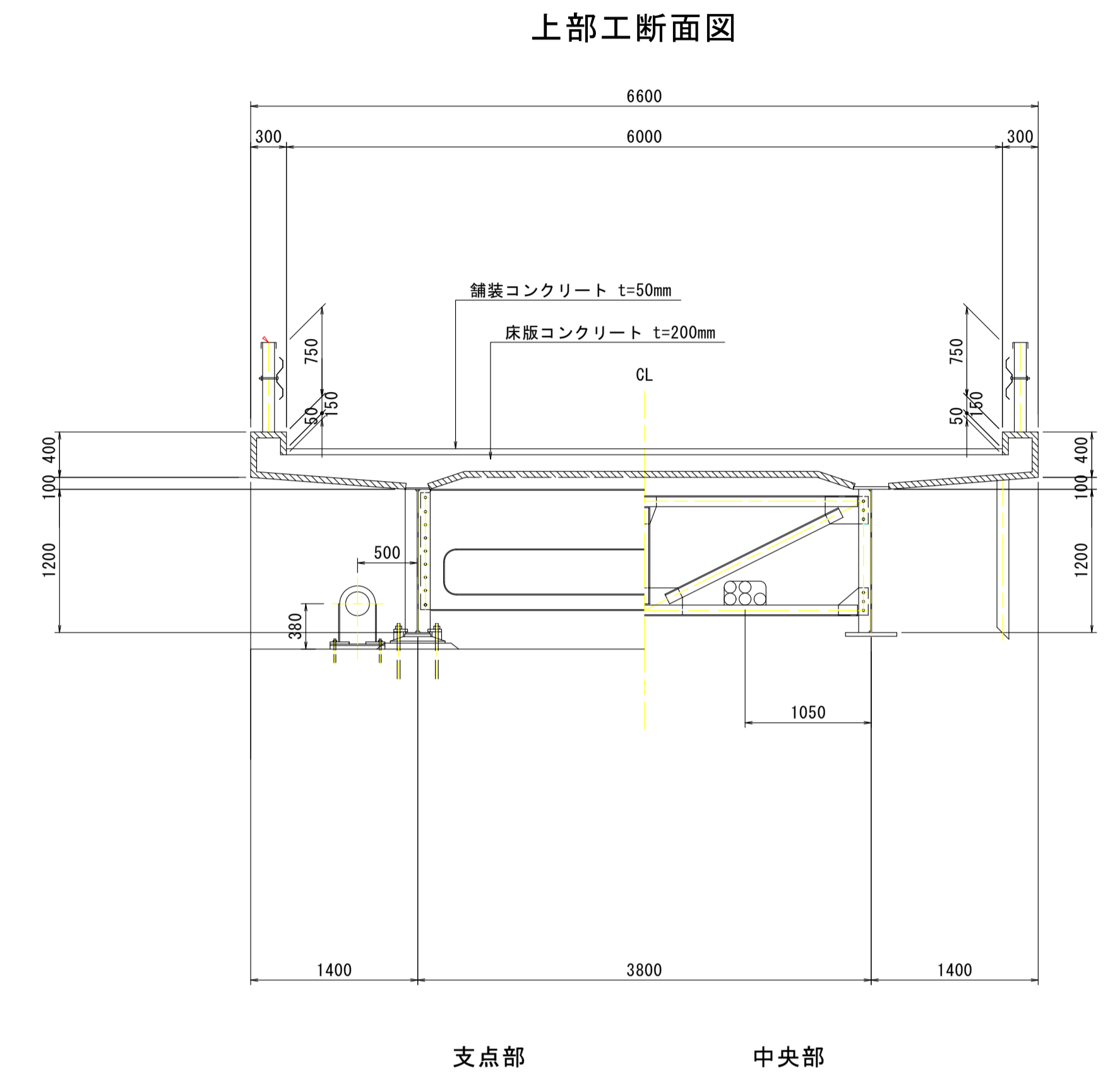
### 側面図



### 平面図



### 断面図 S=1:40



#### 【橋梁諸元】

項目	諸元
橋梁名称	大谷川第1橋
所在地	(自) 徳島県鳴門市大津町大幸瀬の上外 (至) 徳島県鳴門市大津町大幸瀬の上外
路線名	木津野松村線
管轄	徳島県鳴門市
橋長	22.00m
径間数	1径間
幅員	全幅6.60m、有効幅員6.00m
上部工形式	単純鋼合成版桁橋
下部工形式	逆T式橋台2基
基礎工形式	不明
設計荷重	2等橋(TL-14)
適用示方書	昭和39年道路橋示方書
架設年度	1966年(昭和42年)
交差物件	一級河川 吉野川水系 大谷川
添架物	水道管、NTT
緊急輸送路の指定	無し

図面番号	第 4 号	図面総数	第 5 葉
工事名称	大代戎野南3号線2号橋外橋梁補修工事		
図名	補修一般図		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和6年9月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

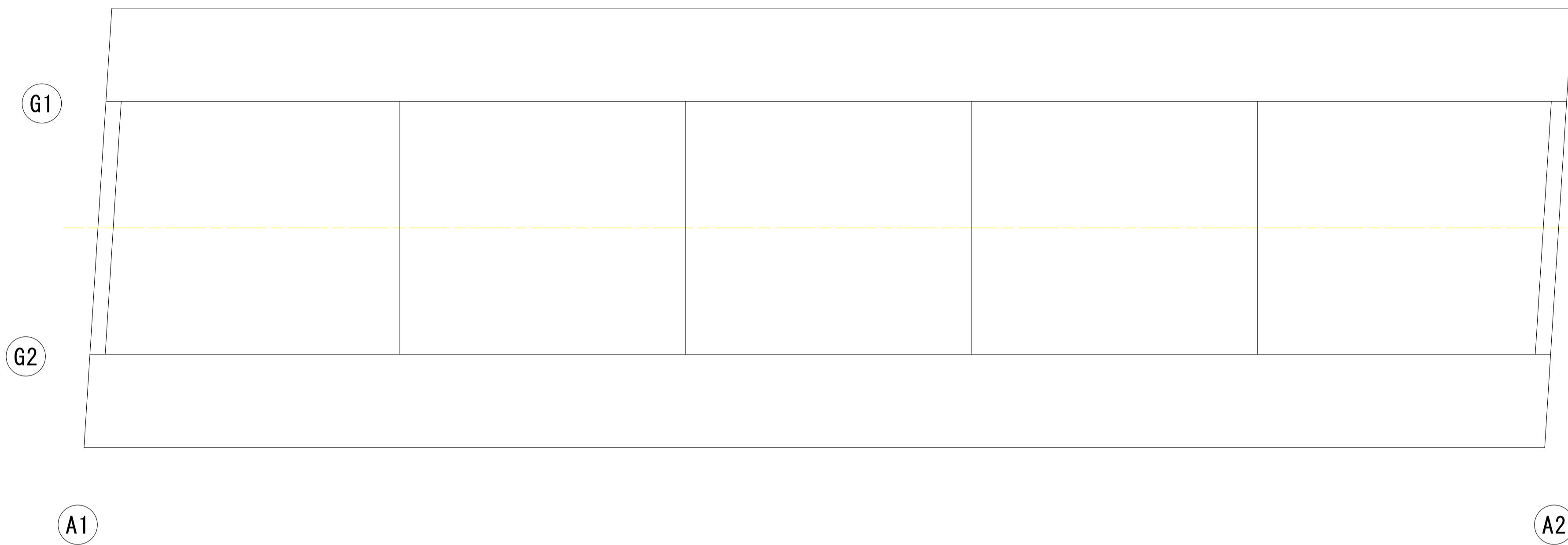


# 補修詳細図

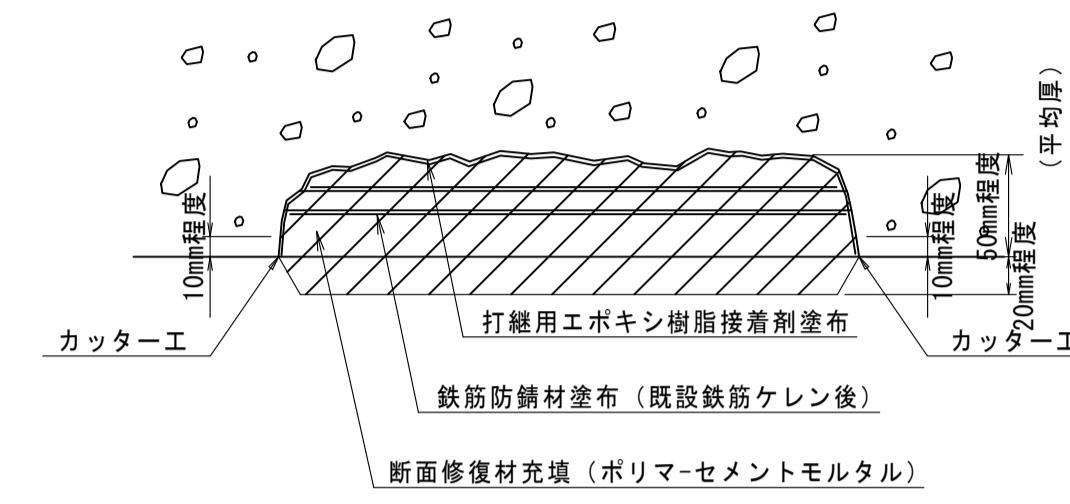
S=1:50

## 大谷川第1橋 断面修復工

平面図  
床版下面



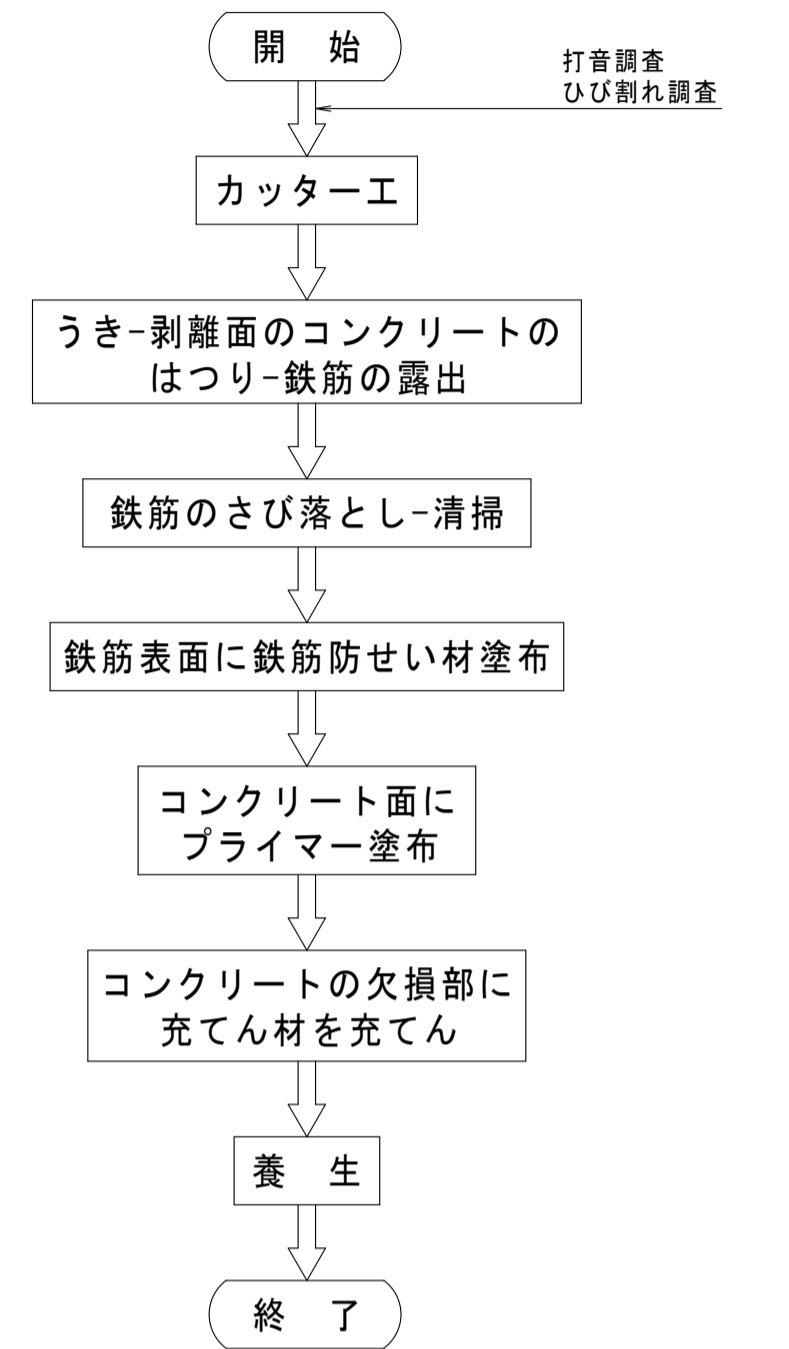
断面修復工詳細図



■施工上の留意点

- ※1. はつり範囲にカッターを入れ電動ピックにより、ひび割れ或いは剥離箇所の脆弱部をはつり除去する。鉄筋の錆は、ペーサンダー等により除去する。
- ※2. かぶり厚さが確保出来ない箇所については、20mm程度膨らして断面修復を行うこと。

施工フロー

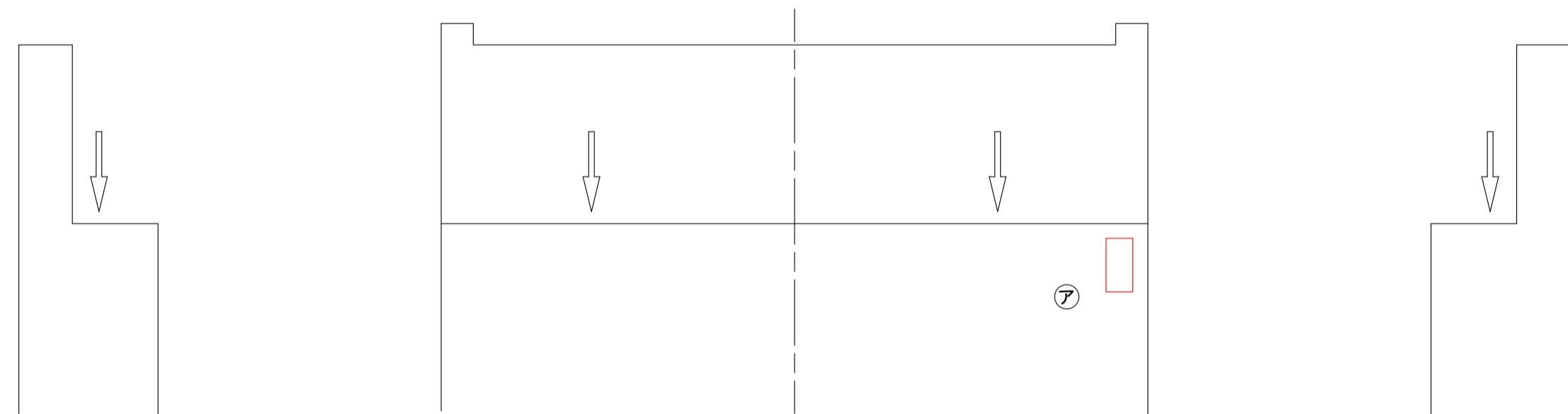


### A1橋台

左側面

起点側

右側面



### 断面修復工 (A1橋台)

番号	算式	単位	数量
㊦	0.25x0.50	m2	0.125
合計		m2	0.125

注記

1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

図面番号	第 5 号	図面総数	第 5 葉
工事名称	大代戎野南3号線2号橋外橋梁補修工事		
図名	補修詳細図		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和6年9月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
	鳴門市 都市建設部 土木課		